

2019年4月17日

**リコー、食品分野向け X 線検査装置市場に新規参入  
～X 線検査装置メーカーXAVIS 社と共同出資会社を設立～**

株式会社リコー(社長執行役員:山下 良則)は、食品分野向け X 線検査装置市場に参入します。この度、韓国 X 線検査装置メーカーの XAVIS Co. Ltd.(社長:キム・ヒョンチョル、以下ジャビス社)との間で、X 線検査装置の開発・販売を手掛ける共同出資会社を設立することで合意しました。

2019 年度から主に日本国内の食品分野向けに X 線検査装置の販売を開始します。また、両社の保有する技術・ノウハウを活用し、より検出能力の高い次世代複合検査装置の開発に取り組みます。

近年、世界的に食品の安全に対するニーズが高まりつつあり、食品事業者自らが原材料の入荷から製品の出荷に至る工程を管理する衛生管理の手法である HACCP<sup>注1</sup>(Hazard Analysis and Critical Control Point)の導入が各国で進められています。日本においても 2018 年 6 月に改正食品衛生法が公布され、今後食品関係事業者に対して HACCP を義務付ける方針が示されています。

中堅・中小規模の事業者においても、規制の厳格化によって異物や包装の不備を検出する検査装置の導入が加速するとみられ、食品分野向け X 線異物検査装置の世界市場は、2018 年から 23 年にかけて年平均成長率 8%(当社推定)の安定した成長が見込まれます。

2002 年に設立されたジャビス社は韓国の X 線検査装置市場において、優れた技術力を背景に高い競争力を発揮し、大手食品、電子機器、半導体メーカーなどを中心にシェアを拡大しています。一方、リコーは光学技術や画像処理技術に強みを持ち、産業用カメラ・レンズ、車載用カメラ、各種センサ、生産管理システムなどの各種製品・ソリューションを通じて、お客様に安心・安全を提供しています。

今回設立する共同出資会社では、2019 年度からジャビス社の協力を得て、日本国内の食品関連市場向けにリコーブランドの X 線検査装置を販売します。さらに、ジャビス社の X 線検査技術とリコーの光学・画像処理技術を融合し、より検出精度が高く、複雑な検査に対応した次世代の複合検査装置の開発・製品化を進めます。

また、電気自動車やモバイル機器向けに需要が増加するリチウムイオン電池や電子基板などの工業製品においても、信頼性・安全性の観点から内部欠陥を検査するニーズが拡大しつつあります。新会社は食品分野のみならず、工業分野にも順次、事業を展開していきます。

リコーは今後も、あらゆる産業分野で高まる安全・安心に対する要求に応えていきます。

**■共同出資会社の会社概要**

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 会社名  | リコーテックビジョン株式会社(RICOH Tech Vision Inc.) |
| 2. 設立   | 2019年4月(予定)                            |
| 3. 資本金  | 1億円                                    |
| 4. 所在地  | 未定                                     |
| 5. 代表者  | 菅沼一男(予定)                               |
| 6. 事業内容 | X線検査装置および関連装置・ソフトウェアの開発、製造、販売          |

注<sup>1</sup>:HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point):食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法です。国連の国連食糧農業機関(FAO)と世界保健機関(WHO)の合同機関である食品規格(コーデックス)委員会から発表され、各国にその採用を推奨している国際的に認められたものです。

#### XAVIS 社について

ジャビス社(XAVIS Co. Ltd.)は、韓国に本社を置き、X線システムの開発設計、製作販売を行っています。2002年の設立以来、韓国で産業の発展に寄与する有望な中小企業として多数の受賞実績を有し、2015年にKONEXに上場しました。韓国市場において、食品医薬品のX線異物検査機のTopレベルのシェアを保有しています。(2017年12月期、売上15億円)

---

#### | リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2018年3月期リコーグループ連結売上は2兆633億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>